

業 績	活動指標	活動指標名		単位	H21	H22	H23
		復旧箇所数	箇所	目標	—	—	—
				実績	1	4	
				目標			
				実績			
			目標				
			実績				
	成果指標	成果指標名		単位	H21	H22	H23
		復旧箇所数	箇所	目標	—	—	—
				実績	1	4	
			目標				
			実績				

事業の自己評価（一次評価）	事業目的の達成状況	台風等や近年多発しているゲリラ豪雨等、不測の事態に対し迅速に対応できる体制整備を整えている。平成22年7月15日豪雨では、災害発生の一報を受け、現地を直ちに確認し道路・水路の早期機能回復を実施した。		
	事業を廃止・休止したときの影響	災害被害に対応するものであるため事業廃止・休止はできない。被害に対する機能回復を迅速に行わないと、市民の日常生活に支障をきたし、また二次被害、三次被害への大きな要因へとつながることとなる。		
	判定	A	市が実施(現状維持又は充実)	
	判定理由	対応体制の維持については適正に継続されており、また発生被害に対し遅延なく機能回復を実施できていることから、現状維持と判断した。		
	今後の事業の方向性（今後の取組み・改善計画等）	被害の状況に応じて、仮設的な簡易構造で復旧するなど、効率的な実施を図らなければならない。 また、東海地震等も懸念されるなか、不測の事態に対し迅速に対応できる体制を維持していくことを目指す。		

二次評価	判定	A	市が実施(現状維持又は充実)	
	判定理由	一次評価のとおり		